

<p>セッション名 (タイトル)</p> <p>50 文字以内</p>	<p>領域別臨地実習における e-learning の活用を考える —看護基礎教育と臨床の協働による取り組み—</p>
<p>抄録原稿 (企画意図等)</p> <p>600 文字以内</p>	<p>本学では平成 21 年から、隣接する附属病院との連携のもとに「循環型教育システムによる看護師育成プラン（文部科学省大学改革推進事業）」に取り組んでいる。これは、学士課程 4 年生を包含した一人前看護師や教育インストラクター育成の教育プログラムの開発、生涯にわたるキャリア支援の体制作り、両組織の積極的な交流に取り組み、基礎教育と卒後教育をリンクさせた看護実践能力の継続教育システムの構築から看護基礎教育と臨床との有機的なつながりを目指している。とくに、一人前看護師育成では、看護学士課程 4 年生から卒後 3 年までの 4 年間の段階的な教育研修プログラムに加え、スキルスラボや e-learning を利用した自己学習や OSCE による看護実践能力の評価手法の確立により、基礎的な看護実践能力の習得を目標にしている。</p> <p>この取り組みのなか、平成 23 年には附属病院と協同で e-learning のプログラム（ナーシング・スキル日本版、エルゼビア社）を導入した。学生がオンラインで閲覧できる内容は、プログラムの標準的看護技術に加え、標準的看護技術をもとに附属病院での手順や留意点が反映、カスタマーズされた技術項目である。さらに平成 24 年には領域別臨地実習の事前学習やシミュレーション学習時の活用をねらいとして、領域毎に独自に手技や課題テスト等の項目を追加し、学習支援ツールとして活用している。</p> <p>本交流会では、これら臨床との協働での取り組みや領域別臨地実習での活用について紹介し、皆さまと意見交換を行いたい。</p>